

23 春闘「全社員アンケート」集計結果①

生活も復活する ベア・一時金を

J-WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 236 (14-06)
2023年 2月 1日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

今年 1 月に実施した「23 春闘全社員アンケート（回収 274 枚）」の集計結果の報告その①です。

1. 全社員アンケート基礎項目

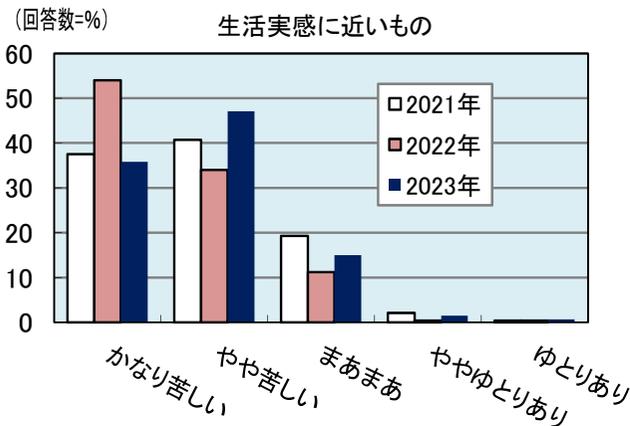
23 春闘アンケートは、JLU 組合員数以上を目指し、職場の人たちにも声をかけて集めています。組織数は減少傾向にありますが回収数は増えました。組合員以外からの回収では、JAL ナビアから 3 件、JFU 1 件、未所属が 1 件ありました。朝ビラや掲示板を見て回答したものと思われまます。今後は他組織にもっと広げる工夫が必要です。

1. 属性年代

| 基礎項目 | 運航整備 | 機体整備 | 間接部門 | その他 | 所属全体 | 22全体 |
|--------|-------|-------|-------|------|--------|--------|
| JLU | 176 | 44 | 34 | 0 | 259 | 233 |
| (%) | 68.0% | 17.0% | 13.1% | 0.0% | 100.0% | 100.0% |
| JALFIO | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 3 |
| (%) | 50.0% | 0.0% | 50.0% | 0.0% | 100.0% | 100.0% |
| JAL合計 | 177 | 44 | 35 | 0 | 261 | 236 |
| (%) | 67.8% | 16.9% | 13.4% | 0.0% | 100.0% | 100.0% |
| JALEC | 6 | 1 | 0 | 0 | 8 | 13 |
| (%) | 75.0% | 12.5% | 0.0% | 0.0% | 100.0% | 100.0% |
| その他 | 1 | 0 | 3 | 0 | 5 | 1 |
| (%) | 20.0% | 0.0% | 60.0% | 0.0% | 100.0% | 100.0% |
| 23全体 | 184 | 45 | 38 | 0 | 274 | 250 |

2. 生活実態について

生活実感に関する設問では、「かなり苦しい」が減り、「やや苦しい」にシフトしています。22 年は年間の一時金が 3.2 ヶ月まで回復したため、少しは生活が改善できたのかもしれませんが、とはいえ、「苦しい」ことに変わりありません。コロナ禍で痛んだ家計を元に戻す必要もあり、「会社が回復したら今まで減らされた分を返してほしい」という声もわかります。

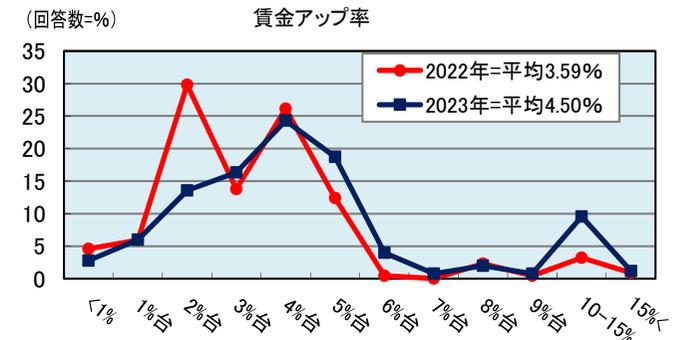
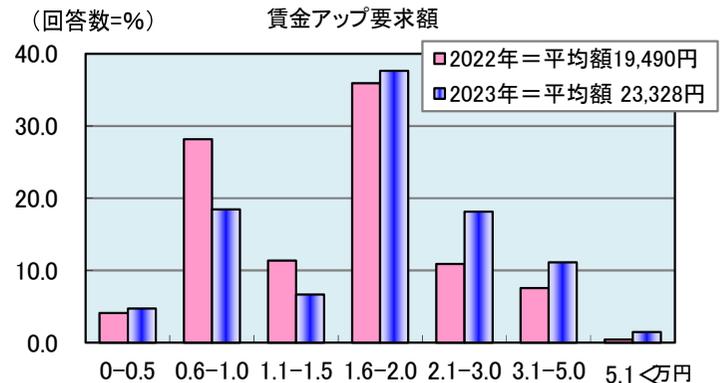


3. 春闘で要求するベースアップについて

22 年は資源高と円安を背景に、食品を始め多くの物やサービスの価格が急激に上昇しました。今年も値上げ傾向は続く見られ、賃上げがなければ実質賃金の減少は避けられません。消費者物価の上昇率が 4% 台になるなか、岸田総理は「インフレ率を超える賃上げ」を経営者に求めています。経団連も「物価動向を重視した賃金引上げを」と言っていますが、一方で「各社に実情に応じた慎重な検討」を強調しています。今、大企業の賃上げに対する姿勢が問われています。

■ 要求額の分布を見ると、今年は 1 万円以下が減って 3 万円以上が増えていいます。平均額も 3 千円ほど上昇。値上げのニュースが相次いだことで、「物価上昇分のベアは必要」となり、要求額が上がったということです。

■ 要求のアップ率は平均値で 1.25 倍になりました。4% に大きな山があり、2% は半減しました。19 春闘のベア 1000 円以降は定昇のみ。一般職の賃金の頭打ちになっている組合員も多いため、これまでの賃金停滞と物価高騰を考慮しベア 4.5% を要求します。

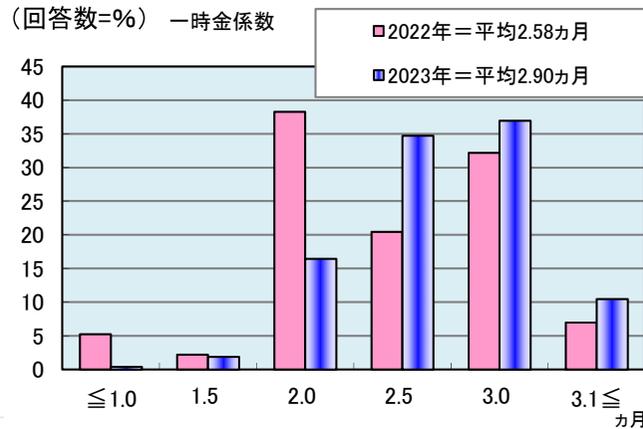


4. 夏期一時金について

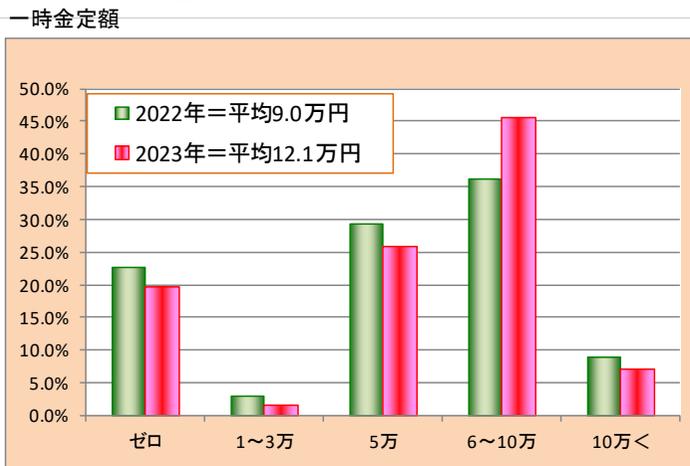
■回答の分布を見ると、2.0カ月が減って2.5、3.0カ月が増えています。全国旅行支援や水際対策緩和など、航空業界にとって明るい話題が続き、来年度への期待が数字に表れました。年末に1.7カ月が支給されたことで「2カ月程度では足りない」と言えるまで回復しています。コロナ前は年間6カ月を目指していたことを考えると通常の春闘に戻ってきたと言えます。

■アンケートでは定額も聞いています。昨年以上に10万円の割合が高くなりました。平均で3万円以上高くなりましたが、これは100万円台の記入が6件あったため、除外すれば昨年と同程度になります。

■一時金の本格交渉は夏闘ですが、通常に戻ると他の労組が業績リンクで交渉し、春に会社から提示されることも考えられます。私たちは夏に3カ月+10万円を要求すると主張しておきます。

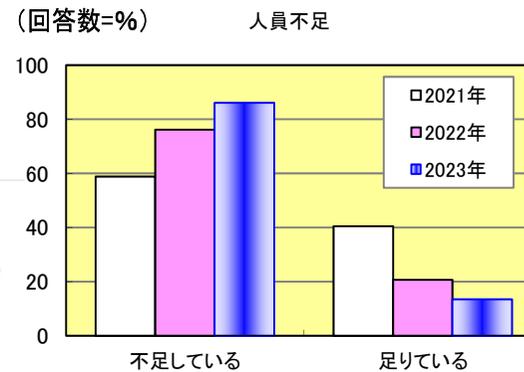


**夏期一時金は
3.0カ月+10万円**



5. 職場の人員について

職場で人員が足りているかどうか聞いたところ「不足している」と答えた人が昨年より更に増えています。アンケート回収時期が年末年始の繁忙期に重なり人員不足を訴える層が増えています。またコメント欄には、グラハン会社や旅客部門、地方の代理店の人財流出の危機感についても書かれていました。



| 職場実態 | 不足 | 足りてる | 合計 |
|-----------|-------------|------------|-------------|
| JLU (%) | 225 (87.2%) | 33 (12.8%) | 258 (99.6%) |
| JLFIO (%) | 1 (50.0%) | 1 (50.0%) | 2 (100.0%) |
| JALEC (%) | 6 (75.0%) | 2 (25.0%) | 8 (100.0%) |
| その他 (%) | 4 (80.0%) | 1 (20.0%) | 5 (100.0%) |
| 23全体 (%) | 236 (86.1%) | 37 (13.5%) | 273 (99.6%) |
| 22全体 (%) | 193 (76.6%) | 52 (20.6%) | 245 (97.2%) |

また、年休取得についても聞いていますがこちらは「ほぼ取得できた」「すべて取得できた」を合わせると今回も98%近くになりました。整備現業は年休をしっかり取らせる習慣はあるものの、1日の出勤が不足し、出勤している人の負荷が高まる傾向があります。CAやJGSの職場からは年休が取れないという声があがっています。JLU組合員のいる職場で恒常的に取れないところがあれば報告ください。

6. 職場実態について

一年前と比べて業務がどうなっているかの質問も人員不足の質問と同様の結果になりました。復便は進んでいますが、外航はこれから戻る部分もあります。不確定要素があって組織改正も出来ない状況で、この多忙感をどう解消するか、労使で知恵を絞る必要があります。

